

ITSS を基軸とした新フレームワーク『Wings』の提供について

一般社団法人 iCD 協会（東京都千代田区、理事長：金 修）は、IT スキル標準（以下 ITSS）をご利用の皆様を対象として、「ITSS を基軸とした新フレームワーク（愛称：『Wings』）」の提供を開始しました。

これにより、「今日の時代にあった ITSS の活用推進」を目的として、以下のような対応を推進可能としています。

- 1) ITSS の職種はそのままで、新たに必要な職種／専門分野を定義できる。
- 2) ITSS の既存の職種について、今時点の視点で専門分野を見直すことができる。

これらを可能とした背景として、弊協会が SFIA（世界で最も利用されている IT 人材の育成や評価のためのスキル標準）と緊密な関係を築きコラボレーションを進めていることがあります。SFIA をベースとしたフレームワークの提供により、デジタルの世界で必要とされるコンピテンシ（役割、タスク、スキル等）の体系につき、事実上グローバルな視点で参照できるだけでなく、SFIA は数年単位で改訂されるため DX（デジタルトランスフォーメーション）やサイバーセキュリティ等のデジタルの最新動向に追従できる特長を有しています。

1. 対象は ITSS をご利用の皆様

経済産業省より 2002 年に初版が公開され、独立行政法人情報処理推進機構（以下、IPA）により普及・保守が担われている ITSS は、我が国の IT 関連業界において多くの皆様が参照されている代表的なフレームワークです。

その ITSS をご利用の皆様からは、次のような課題をよくお聞きしています。

- ITSS ベースの人材類型を見直したいが、参考となるフレームワークを選定できていない。
- ITSS を人材育成評価等の制度に組込んでおり、別のフレームワークへの移行は簡単ではない。
- かつての ITSS のような公共性・継続性・最新性等に優れたフレームワークを参照したい。

など

このたび提供させて頂く新フレームワーク『Wings』は、これらの課題に対するソリューション提示を目的としています。

2. フレームワークの提供イメージ

1) ITSS の職種はそのままで新たに必要な職種／専門分野を定義

既存の ITSS 領域の両翼に、新領域として SFIA を参照した職種／専門分野を示す形で提供します。

ITSS は IT ベンダーや IT 子会社がお客様に提示する人材像を中心とした定義であるため、その領域は実装・運用が主となっています。よって新領域は、自社内で職種／専門分野を拡張して対応すべき領域、具体的には戦略系人材やコーポレート人材等が担う価値創造／意思決定／マネジメント等の分野が主となります。すなわち IT ベンダーや IT 子会社が新領域の対応を目指すことは、「ビジネスモデルの変革」へと繋がっていきます。

職種	戦略と構想		変化への対応		システムの実装																		システムの実用		人材の確保	
	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域	新領域		
専門分野	ITストラテジ	ビジネスプランニング	プログラムマネジメント	ビジネスプロセス	マーケティング	セールス	コンサル	ITアーキテクト	プロジェクトマネジメント	ITスペシャリスト	アプリケーション	ソフトウェア	カスタマーサービス	ITサービス	エディタ	ニューマン	オペレーション	サブシステム	サブシステム	サブシステム	サブシステム	サブシステム	サブシステム	サブシステム	サブシステム	
	エンタープライズIT戦略	ITリソース管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	ITシステム管理	
	新領域 (L-Wing)				ITSS領域 (ITSSそのまま)																		新領域 (R-Wing)			
	価値創造 意思決定 等																						マネジメント 等			
レベル	レベル7	レベル6	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1																			

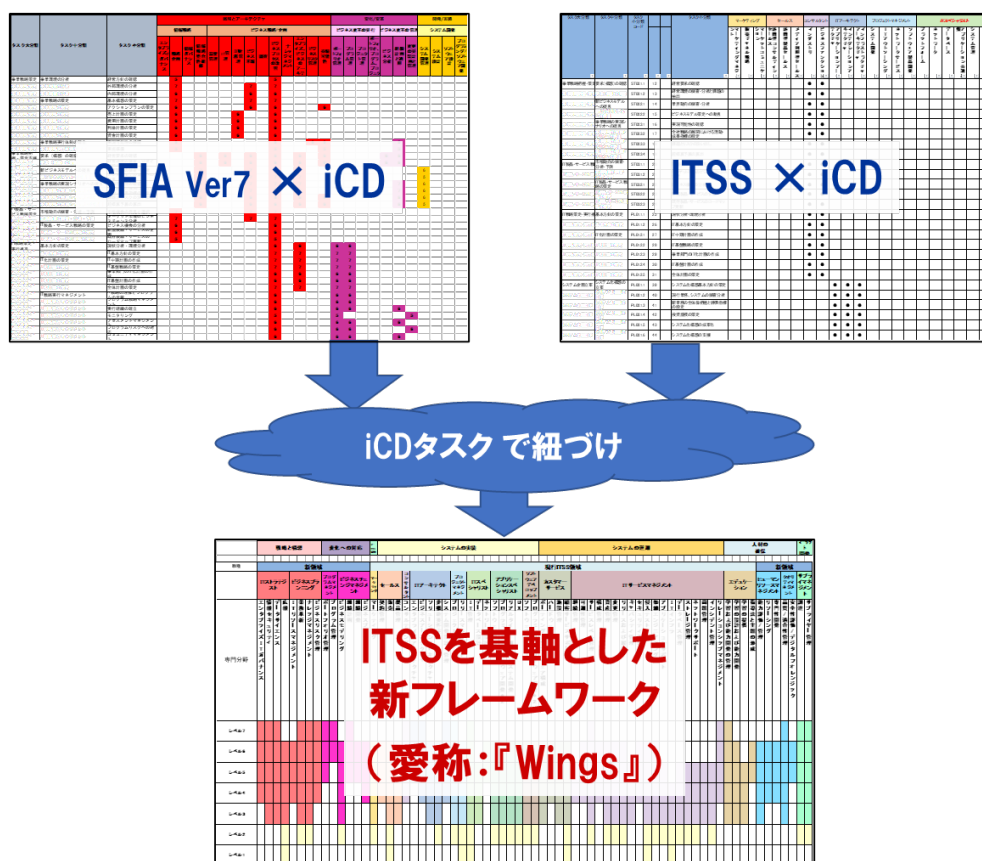
両翼の新領域について

- 左翼 (L-Wing) は、価値創造／意思決定等（戦略と構想、変化への対応 等）の領域です。
- 右翼 (R-Wing) は、マネジメント等（リソース・品質・サプライ等の管理）の領域です。
- 新領域の職種や専門分野の内容は、SFIA の職務記述書形式にて把握できます。かつ iCD と紐づいているため、タスクにて把握することが可能です。

3. ITSS を基軸とした新フレームワーク『Wings』提供を可能とした仕組み

弊協会では、SFIA（世界で最も利用されている IT 人材の育成や評価のためのスキル標準）と緊密な関係を築きコラボレーションを進めています。（本件は今年 7 月 12 日に公開済み）

その活動の中で、弊協会では、「SFIA Ver7 と iCD タスク」ならびに「ITSS と iCD タスク」の対応表を既に構築済みです。この両者を iCD タスクをキーとして ITSS と SFIA Ver7 を紐づけ、このたびのフレームワーク提供に至っています。



なお SFIA は、SFIA Ver8（英語版）を今年 9 月 28 日に公開しました。

それを受け、弊協会では「SFIA Ver8 と iCD タスク」対応表も近々に構築し、『Wings』も改訂させて頂く予定です。

よって、このフレームワークは次の特長を有しています。

- デジタルの世界で必要とされるスキル体系につき、事実上グローバルな視点で参照できる。
- さらに SFIA は数年単位で改訂されるため、デジタルの最新動向に追随できる。
- SFIA Ver7 をベースとした提供では、既に次のようなテーマへの対応を可能としている。
 - DX（デジタルトランスフォーメーション）
 - サイバーセキュリティ
 - ビックデータ／データサイエンス
 - DevOps
 - ソフトウェアエンジニアリング

- SFIA Ver8 をベースとした提供では、新たに次のようなテーマに対応予定である。

- Agile
- エンタープライズ IT

など

これらの特長を有した新フレームワーク『Wings』は、グローバル性・継続性・最新性等を保証されたものとみなすことができ、安心してご利用になれます。

4. ITSS を基軸とした新フレームワーク『Wings』の扱いについて

このフレームワークは、次のようなメンバー（敬称略）による弊協会活動の成果のひとつです。

メンバー名 〔役割〕	プロフィール
遠藤 修 〔クリエイター〕	iCD 協会 常任理事 元) IPA にて iCD 提供展開および SFIA 連携の責任者
林口 英治 〔デザイナー〕	ヴィー・ジェー・ピー(株) 取締役 CTO 日本で唯一の SFIA 認定コンサルタント
秋元 裕和 〔デザイナー〕	元) 富士通(株)にて 営業/SE 部門の人材育成に従事 元) IPA における IT スキル標準センター (HRD イニシアティブセンター) センター長
古川 勝久 〔アドバイザー〕	(株)富士通ラーニングメディア 執行役員 富士通(株)をはじめとした IT 業界の人材育成動向等に精通
宮田 奈穂美 〔アドバイザー〕	(株)富士通ラーニングメディア シニアディレクター 研修事業の動向や企画等に精通したコンサルタントとして活躍

〔補足〕 ・上記は、2021年11月時点のメンバーです

- ・このような「ITSS 利用者の次のステージに向けた活動」はニーズが高く、さらに会員メンバーの充実を図り、多面的に展開予定です。
- ・例えば、賛同者に協賛頂いてのカンファレンス開催などを計画していますので、ご期待ください。

このような弊協会活動の成果物のライセンスは弊協会が保有しており、このたびの新フレームワーク『Wings』も同様な扱いとなります。すなわちその提供は、原則として弊協会の会員が対象となります。

5. ITSS を基軸とした新フレームワーク『Wings』のご提供にあたって

1) 弊協会会員の皆様

フレームの詳細に関するお問合せ、ならびに導入のご支援等につきましては随時承ります。事務局へのお問い合わせをお待ちしております。

2) 非会員の皆様

フレームのみご提供させていただきます。

別途、申請書を準備しますので、氏名／所属／連絡先等の必要事項を記入のうえ、事務局までお申込みください。

なお、いずれも自社内での利用に限定させていただきます。弊協会の許可なく、当フレームワークのビジネスへの活用や論評公表等を行うことは固く禁じます。

■一般社団法人 iCD 協会

本社所在地：〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 千代田ビル 6F

理事長：金 修

設立：2018年2月

事業概要：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD (i コンピテンシ ディクショナリ)」に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL：<https://www.icda.or.jp/>

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当：広報担当

Mail：icda-info@icda.or.jp

Tel：03-4530-6226